

i アプリ

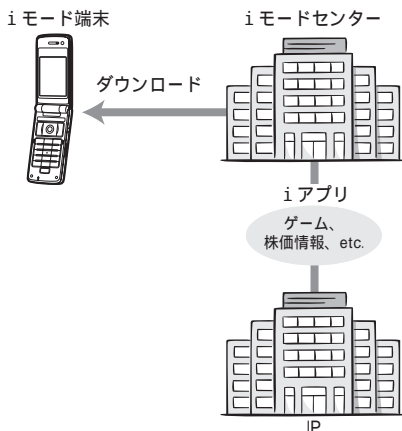
- i アプリとは < i アプリ > 244
- i アプリDXとは 244
- サイトから i アプリをダウンロードする < ダウンロード > 245
- i アプリを実行する < i アプリ実行 > 246
- i アプリを自動実行する < 自動起動設定 > 253
- サイトや i モードメールから i アプリを実行する < i アプリTo機能 > 253
- i アプリ待受画面を設定する < i アプリ待受設定 > 254
- i アプリを管理する 255
- microSDメモリーカード内の i アプリ使用データを表示する
..... < i アプリ使用データ(コンテンツ移行対応) > 256
- i アプリのさまざまな機能を利用する 257

i アプリ

i アプリとは

i アプリをサイトからダウンロードすることにより、i モード対応FOMA端末(以下、i モード端末)をより便利に活用いただけます。たとえば、i モード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報の i アプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。

さらに、地図の i アプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、i アプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できる i アプリもあります。



- i アプリをダウンロードするにはP.245
- i アプリを実行するにはP.246
- i アプリを自動実行するにはP.253
- ソフトによっては、i モード端末の携帯電話 / FOMAカード(UIM)の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては、実行時に通信を行う場合があります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

i アプリのソフトには、お客様の i モード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ)を参照、登録、操作ができるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- ブックマーク登録
- データBOXからの画像取得
- トルカの新規登録
- アイコン情報利用
- スケジュール登録
- データBOXへの画像保存
- microSDメモリーカードの利用

i アプリDXとは

i アプリDXでは、i モード端末の情報(メールや発信履歴、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信が知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、i アプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

i アプリDXのソフトでは、通常の i アプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
 - 電話帳参照
 - アイコン情報利用
 - スケジュール登録
 - i モードメール作成画面利用
 - 最新の着信履歴参照
 - 着信音保存
 - データBOXからの画像取得
 - 画面設定の変更(待受画面、電話発信、メール送受信、メッセージR/F受信)
 - ブックマーク登録
 - メールメニューの利用
 - 最新のリダイヤル参照
 - 最新の未読メール参照
 - 着信音変更(電話、メール、メッセージR/F)
 - データBOXへの画像保存
 - トルカの新規登録、選択・取得
 - microSDメモリーカードの利用
- i アプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- i アプリDXを起動するには日付・時刻設定が必要です。

メール連動型 i アプリとは

メール連動型 i アプリは、i アプリDXの一種で、i モードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型 i アプリで利用される i アプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応 i アプリとは

おサイフケータイ対応 i アプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応 i アプリを利用すると、ご契約しているサービスのIC情報サービス提供者などにICカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとはP.260

こんなこともできます

i アプリ待受画面

i アプリ待受画面では、i アプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の詳細情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です(☞P.254)。

- i アプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

i アプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります(☞P.253)。

カメラ撮影

ソフトから i モード端末のカメラを使って撮影できます(☞P.257)。

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます(☞P.258)。

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。たとえばプリンストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます(☞P.315)。

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

バーコードリーダー

ソフトから i モード端末のカメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ることができます(☞P.257)。

ダウンロード

サイトから i アプリをダウンロードする

サイトやインターネットホームページから i アプリのソフトをダウンロードすると、FOMA 端末のディスプレイ上で実行できます。

- ソフトは最大100件まで保存できます(ソフトのサイズによって、保存できる件数が変わります)。ただし、メール連動型 i アプリのソフトは5件まで保存できます。

1 サイト(☞P.180の操作1~3)やインターネットホームページ(☞P.186の操作1~2)を表示中に、ソフトを選んで(☞)を押す。

- i アプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。

登録データ、携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号やmicroSDメモリーカードを利用するソフトのとき	ダウンロードの確認画面で [はい] (☞) ● 登録データの一覧を確認するときは(☞)登録データを押します。
[ソフトを起動しますか?] が表示されたとき	[はい] (☞) ● ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA 端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては、保存するかどうかを選択できます。
FOMA 端末(本体)のメモリの空き容量が不足しているとき	[メモリが不足しているか保存可能件数を超過しました 上書きしますか?] [はい] (☞) ソフトを選ぶ(☞) (くり返し可) (☞)
ダウンロードを中止するとき	[ダウンロード中 表示中に、(☞)]

- 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みときは、[異なるFOMAカード(UIM)でダウンロード済みです ソフトを上書きしますか?]と表示されます。[はい]を選んで(☞)を押すと、上書きされます。ただし、おサイフケータイ対応 i アプリのソフトの場合は、上書きできません。
- ソフトによっては、ダウンロード完了後に i アプリ設定(待受画面設定、通信設定)の画面が表示されることがあります。必要な項目の設定が終わったら、(☞)完了を押します。

お知らせ

- 電波状況などによりダウンロードが失敗した場合、途中でダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードすることができます(☞P.246)。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- 通信設定を[通信しない]に設定すると、情報提供できない場合がありますので、ご注意ください。
- SSL対応のページから i アプリの情報や i アプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。

お知らせ

- i アプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとでも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- i アプリの機能別ロック中に、i アプリダウンロードを行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時解除され、ダウンロードできます。

選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロード(バージョンアップ)が開始されます。

おサイフケータイ対応 i アプリのダウンロードができないとき

- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応 i アプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください(ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならない場合があります)。ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。

- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応 i アプリをダウンロードできない場合があります。

メモリエリアについて

- データBOXと i アプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、i アプリのソフトが保存できない場合があります。

メール運動型 i アプリのダウンロードについて

メール運動型 i アプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール運動型 i アプリをダウンロードした場合、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール運動型 i アプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール運動型 i アプリ名となり、変更できません。
- メール運動型 i アプリ用フォルダは、最大5個保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール運動型 i アプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール運動型 i アプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール運動型 i アプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用できます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しない場合は、メール運動型 i アプリをダウンロードできません。
- メール運動型 i アプリを残したままで、対応するメール運動型 i アプリ用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。

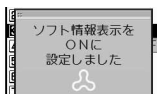
- メール運動型 i アプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。フォルダのみを残した場合は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて[OK]を押し、[i モードメール閲覧]を選んで[OK]を押すと、メール本文を確認することができます。
- メール機能別ロック中(☑P.150)は、メール運動型 i アプリをダウンロードできません。
- メール機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール運動型 i アプリは、ダウンロードしたりバージョンアップできません。
- メール機能別ロック中、新規メールフォルダを作成するメール運動型 i アプリはダウンロードできません。

ダウンロード時に i アプリの情報を見る <ソフト情報表示設定 >

お買い上げ時 OFF

- 1 待受画面で[OK]を1秒以上押して[3] ソフト情報表示設定 を押し、[1] ON を押す。

- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。



i アプリ実行 i アプリを実行する

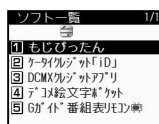
- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☑P.248)で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定できます。

- 1 待受画面で[OK]を1秒以上押す。

- 待受画面で[OK]を2回押しても i アプリ画面が表示されます。
- おサイフケータイ対応 i アプリのソフトのみを表示するときは、待受画面で[OK][2][4]を押してICカード一覧を選択します。

- 2 [1] ソフト一覧 を押す。

- FOMA端末に保存されているソフトのタイトルが表示されます。
- 選択しているソフトの設定状態によって、次のマークが表示されます。



ソフト一覧画面

マークの意味

	i アプリ待受画面の機能を持ったソフト
	自動起動の機能を持ったソフト
	SSL通信でダウンロードしたソフト
	i アプリDXのソフト
	メール運動型 i アプリのソフト

	i アプリ待受画面に設定されているソフト
	自動起動が設定されているソフト
	通信する機能を持ったソフト
	i アプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるソフト
	FOMAカード動作制限が設定されているソフト
	おサイフケータイ対応i アプリのソフト
	途中までダウンロードしたソフト
	i Cお引っこしサービスを利用して移し替えたあとのソフト(※P.260)

3 実行するソフトを選んで[OK]を押す。

- i アプリ起動中画面が表示され、ソフトが起動します。
- 途中でダウンロードしたソフトの場合、「データが不足しています 残り全てをダウンロードしますか?」と表示されます。[はい]を選んで[OK]を押すと、ダウンロードを開始します。
- ソフトを終了するときは、ソフト実行中にを押す。[はい]を選んで[OK]を押します。
- i Cお引っこしサービスを利用して移し替えたソフトをICカード一覧から選んだ場合、「ソフトをダウンロードしますか?」または「ソフトをダウンロードするためにサイト接続しますか?」と表示されます。[はい]を選んで[OK]を押すとソフトのダウンロードを開始、またはサイトに接続します。

i アプリ起動中



お知らせ

- i アプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行(起動)できないi アプリがあります。
- ソフト実行中に**アラーム**(アラーム/スケジュールアラーム/ToDoアラーム)で設定した時刻になると、ソフトは中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開されます。i アプリのソフトによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール運動型i アプリは、**受信BOX**、**送信BOX**、**未送信BOX**からも起動できます。各フォルダ一覧からメール運動型i アプリフォルダを選択してください。
- i アプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合に、確認画面が表示されバージョンアップできます。
- 3Dポリゴンエンジン搭載により、i アプリで立体画像を表示できます。3Dポリゴンは、多角形(三角形や四角形など)を組み合わせたことにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフト実行中に通信回数が多くなると、「i アプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか?」と表示され、通信を行うかどうかを選択できます。

お知らせ

- i アプリのソフトによっては、i アプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるものがあります。保存したi アプリ使用データは、i アプリ使用データ一覧で確認できます。また、i アプリ使用データを利用するソフトは、i アプリ使用データの情報表示で確認できます(※P.256)。
 - i アプリ使用データの保存・削除中に、microSDメモリーカードや電池パックを抜くと、i アプリ使用データを参照できなくなる場合があります。その場合は、microSDメモリーカードをFOMA SH703iでフォーマットしてください(フォーマットを行うと、microSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます)。
 - microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
 - 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、i アプリからmicroSDメモリーカードの読み書きをすることができない場合があります。
- i アプリDXを起動するとき
- i アプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために**通信設定**にかかわらず通信するものがあります(通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります)。
 - 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
 - ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

関連操作

ショートカットメニューから起動する

待受画面で▶ソフトを選ぶ▶

音量を調節する<i アプリ音量設定>

待受画面で▶▶▶▶▶▶

ソフトの情報を表示する<ソフト情報表示>

ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶

関連操作のお知らせ

ショートカットメニューについて



- よく使うi アプリのソフトなどを、あらかじめ登録しておく必要があります(※P.348)。
 - 待受画面にカレンダーが表示されているときは、を押してカレンダー表示を解除してから操作してください。
- i アプリ音量設定について
- i アプリによっては音の鳴らないものもあります。
- ソフト情報表示について
- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などです。
 - 表示されるi アプリのソフト名は変更できません。


通信を行うかどうかを設定する




< 通信設定 >

i アプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[通信する] に設定されています。

1 ソフト一覧画面( P.246)で、ソフトを選んで  [ソフト利用設定] を押す。

2 [通信設定] を選んで  を押し、通信するかどうかを選ぶ。

通信する	 ①
通信しない	 ②
i アプリが起動するたびに確認する	 ③

3  [完了] を押す。



お知らせ



- 通信設定を [通信しない] に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- i アプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります(「i アプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のi アプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です)。

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する < アイコン情報設定 >

i アプリ実行中、未読のメール・メッセージR/Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかをソフトごとに設定します。

- ここでの設定はアイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[利用する] に設定されています。

1 ソフト一覧画面( P.246)で、ソフトを選んで  [ソフト利用設定] を押す。

2 [アイコン情報設定] を選んで  を押し、 [利用する] を押す。



3  [完了] を押す。



お知らせ

- アイコン情報が必要なソフトの場合、[利用しない] に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を [利用する] に設定すると、未読のメール・メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話 / FOMAカード (UIM) の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する < 電話帳 / 履歴参照 >

- i アプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを設定できるものがあります。[許可する] に設定した場合、i アプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照できます。
- ここでの設定は電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
 - ソフトのダウンロード時は、[許可する] に設定されています。

1 ソフト一覧画面( P.246)で、ソフトを選んで  [ソフト利用設定] を押す。

2 [ソフトからの電話帳 / 履歴参照] を選んで  を押し、 [許可する] を押す。

3  [完了] を押す。

お知らせ

- [許可しない] に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

着信音や画面の変更を許可するかどう かを設定する <着信音 / 画像変更>

i アプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、i アプリから着信音や画面を自動的に変更できます。

- ソフトのダウンロード時は、[許可する] [表示しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.246)で、ソフトを選んで☉(6) [ソフト利用設定] を押す。

2 [ソフトからの着信音 / 画像 / メニューアイコン変更を] を選んで●(7) を押し、(1) [許可する] を押す。

- 変更を許可しないときは、(2) を押し、操作4に進みます。

3 [変更ごとに確認画面を] を選んで●(8) を押し、(1) [表示する] を押す。

- 確認画面を表示しないときは、(2) を押します。

4 (3) [完了] を押す。

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、以下のソフトが登録されています。

- もじびったん
- ケータイクレジット「iX アイディ」
- DCMXクレジットアプリ
- デコメ絵文字ポケット
- Gガイド番組表リモコン
- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合、i Menu内のサイト[SH-MODE からダウンロードできます。



サイト接続用
QRコード

もじびったん

クロスワードのように文字をくっつけて言葉を作り、マス目に文字を当てはめていくゲームです。自由な発想で、いろいろな解き方をすることができます。

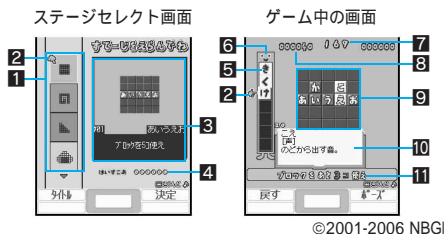
ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面(☞P.246)で、[もじびったん] を選んで●(7) を押す。

- ソフトが起動し、タイトル画面が表示されます。

2 ●(8) を押し、ステージを選んで●(9) または☉(6) を押す。

画面について



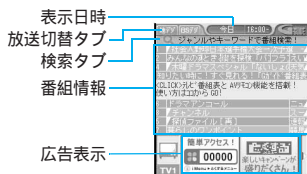
©2001-2006 NBGI

- 1 ステージ選択：プレイするステージを選びます。
- 2 カーソル：上下に動かして、ステージや「もじブロック」を選びます。
- 3 ステージ説明：選択しているステージの、ゲーム中の画面とクリア条件が表示されます。
- 4 ハイスコア：各ステージの最高得点を表示します。
- 5 もじブロック：選んだ「もじブロック」を、マスに置きます。左から右、上から下に読んで2文字以上の言葉ができるマスにしか、ブロックを置くことはできません。間違っ「もじブロック」を置いてしまった場合は、(3) [戻す] で何手でも戻すことができます。
- 6 えらぶくん：「もじブロック」が表示されます。
- 7 制限時間(秒)：ゲームの残り時間です。制限時間を過ぎるとタイムアップです。
- 8 得点：現在の得点を表示します。
- 9 マス：ここに「もじブロック」を置きます。
- 10 ことばの意味：言葉ができると意味が表示されます。
- 11 クリア条件：制限時間内に、ここに表示されるクリア条件を満たせば、ステージクリアです。

ボタン操作について

ボタン	ステージセレクト画面	ゲーム中の画面
(←)	ステージを選択する。	「もじブロック」/ カーソルを移動する。
(●)	ステージを決定する。	「もじブロック」を決定 / 配置する。
(☹)	タイトル画面を表示する。	配置した「もじブロック」を戻す。
(☉)	ステージを決定する。	ゲームを中断する。
(X)	サウンドのON / OFFを切り替える。	

Gガイド番組表リモコン



メイン画面

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。

いつでもどこでも知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始/終了時間などを知ることができます。

気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約することもできます。リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤのリモコン操作ができます(一部対応していない機種もあります)。

リモコンの操作時の注意事項については、P.315「赤外線リモコン機能を利用する」を参照してください。

画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。

別途パケット通信料がかかります。

詳しくは、『ご利用ガイドブック (iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面(P.246)で、[Gガイド番組表リモコン]を選んで[●]を押す。

- ソフトが起動し、メイン画面が表示されます。
- 初回起動時は、初期設定画面が表示されます。

2 郵便番号、生まれた年、性別を入力する。

3 番組表設定で [地上デジタル] または [地上アナログ] を選んで [●] を押す。

4 [設定] を押す。
● 利用規約画面が表示されます。

5 規約に同意するときは、[はい] を選んで [●] を押す。
● 通信後、メイン画面とお知らせが表示されます。

番組情報の表示

● 地上波とBS波を切り替える

メイン画面で [] を押し最上位の放送切替タブを選び、[] で放送波を切り替えます。

● BSデジタルに切り替えた場合に、視聴チャンネルを設定していないときは、お知らせが表示されます。[設定] を押し、視聴チャンネルを設定してください。

● 番組情報を切り替える

メイン画面には番組情報や広告が表示されます。番組情報の部分を選択しているときに、[] を押すとチャンネルを選択できます。[] を押すと、時間帯を切り替えられます。[] を押すと番組情報が表示されます。このとき、リモコン登録およびリモコンチャンネル設定がされている場合は、赤外線送信されます。

● メイン画面での共通操作

使い方面を表示する	[] ● リモコンの設定をしていない場合は表示できません。
メニューを表示する	[]
予約リストに登録する(地上アナログのみ)	[] ● 登録を取り消すときも、同じボタンを押します。
リモコンを切り替える(TV1 TV2 ビデオ DVDの順)	[]
リモート録画予約する	[]

● 広告表示での操作

広告部分を選択すると、登録されている文字情報が吹き出しで表示されます。[] を押すと、広告に設定されている機能(Phone To機能、Mail To機能、Web To機能)を起動できる場合があります。

日時を指定して番組表を表示する

- 1 メイン画面で [メニュー] を押し、[日時指定] を選んで [●] を押す。
- 2 表示日を選んで [●] を押し、表示時刻を選んで [●] を押す。
- 3 [表示] を押す。
● 番組表が表示されます。
[サーバから番組データを取得します] と表示されたときは、[YES] を選んで [●] を押すと、番組情報を取得します。

キーワードで番組を検索する

- 1 メイン画面で [] を押し検索タブを選び、
- 2 [] でキーワードを選んで [●] を押し、検索する日付を選んで、キーワードを入力するか、検索履歴から選んで [●] を押す。
● ジャンルで検索するときは、[] でジャンルを選んで [●] を押し、検索する日付とジャンルを選んで [] を押し、サブジャンルを選んで [●] を押します。

3 で「検索」を選んでを押し、 [YES]を選んでを押す。

- 検索結果画面でを押して番組情報を表示したり、予約リスト(地上アナログのみ)に登録することができます。

リモート録画予約について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

● 初期設定の方法

1 DVDレコーダーにインターネット接続の設定をする。

- ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

2 メイン画面で「メニュー」を選んでを押す、[リモート録画予約]を選んでを押す。

- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

● 番組予約の方法

初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから[リモート録画予約]を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

すでに同じ時間に予約されている場合は、番組表にメッセージが表示されます。

別途パケット通信料がかかります。

関 連 操 作

番組詳細情報を表示する

メイン画面で▶[番組詳細]▶

予約リスト一覧を表示する(地上アナログのみ)

メイン画面で▶[赤外線予約]▶▶[予約リスト]▶

視聴チャンネルの設定を行う

メイン画面で▶[更新・設定]▶▶[視聴チャンネル]▶▶チャンネルを選ぶ◀(くり返し可)▶

リモコン登録を行う

メイン画面で▶[更新・設定]▶▶[リモコン登録]▶▶登録する機器を選ぶ▶登録機器のメーカーを選ぶ◀(くり返し可)

リセットする

メイン画面で▶[更新・設定]▶▶[リセット]▶▶▶[YES]▶▶

リモコンチャンネルの設定を行う

メイン画面で▶[更新・設定]▶▶[リモコンチャンネル設定]▶▶チャンネルを選ぶ▶

ジャンル色分設定を行う

メイン画面で▶[更新・設定]▶▶[ジャンル色分設定]▶▶ジャンルを選ぶ▶サブジャンルを選ぶ▶色を選ぶ▶

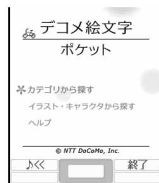
関 連 操 作

最新の番組表に更新する

メイン画面で▶[更新・設定]▶▶[最新に更新]▶▶[YES]▶▶

■ デコメ絵文字ポケット

「デコメ絵文字ポケット」は、iモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用のiアプリです。情報サービス提供者から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリ」や「イラスト・キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単に携帯電話機に保存することができます。



また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。

- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報料は無料です。iPC情報サービス提供者が提供するサイトをご覧になる場合には別途iモード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。詳しくは、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ ケータイクレジット「iD(アイディ)」

ケータイクレジット「iD(アイディ)」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社への申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリをはじめて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行ったあと、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、iDのiモードサイトおよびホームページをご覧ください。

iモードサイト:[i Menu]
[メニュー/検索] [ケータイクレジット「iD」]
ホームページ: <http://id-credit.com>



サイト接続用
QRコード

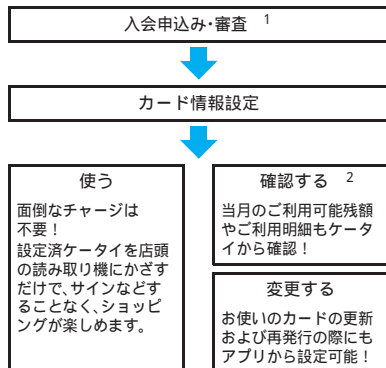
DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD(アイディ)」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモ・グループが提供するクレジットサービスです。

DCMXには、月額1万円まで利用できるDCMX miniと、キャッシングやリボなどのサービスも充実し、クレジットカードも同時発行するDCMX、DCMX goldの各サービスがございます。

DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能



1 お申し込み時にオンラインで簡単な入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、iモードのお申し込みページに接続します。

2 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については下記を参照してください。

iモードサイト[i Menu] [メニュー / 検索] [DCMX(ケータイクレジット)]
ホームページ:<http://www.dcmx.jp>



サイト接続用
QRコード

- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 本アプリの利用にともないiモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- お申し込み・設定完了後は、本アプリからは起動できません。ご利用状況の確認や設定の変更などをご利用になる場合は、iDアプリを起動し、DCMXアプリを選択して連携起動してください。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック(iモード < FOMA > 編)』をご覧ください。

お知らせ

- お買い上げ時、内蔵iアプリの各機能は次のように設定されています。

お知らせ

- ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

設定項目	お買い上げ時の設定				
	もじびったん	ケータイクレジット「iD(アイディ)」	DCMXクレジットアプリ	デコメ絵文字ポケット	Gガイド番組表リモコン
待受画面設定	-	-	-	-	-
通信設定	通信する				
iアプリTo設定	-	許可する		-	許可する
アイコン情報設定	-	-	-	-	-
着信音/画像変更	-	-	-	-	-
電話帳/履歴参照	-	-	-	-	-

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応iアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動起動設定

i アプリを自動実行する

i アプリを自動起動する方法は3通りあります。

- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください (P.45)。

i アプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を「ON」に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を「ON」に設定して、自動起動するソフトを登録します。最大9件まで登録できます。
FOMA 端末の設定による自動起動	FOMA 端末に保存されている i アプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を「ON」に設定して、スケジュールを設定します。最大9件まで登録できます。

自動起動するかどうかを設定する

< 自動起動設定 >

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で **[ON]** を 1 秒以上押して **[4] 自動起動設定** を押す。

2 **[1] ON** を押す。



自動起動設定画面

FOMA 端末の設定でソフトの起動日時を設定する

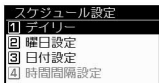
1 自動起動設定画面で **[3] 詳細設定** を押し、番号を選ぶ。

新規登録する	番号を選ぶ <input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規に登録するときは「-----」が表示されている番号を選びます。
変更する	変更する番号を選ぶ <input type="radio"/> [1]
削除する	削除する番号を選ぶ <input type="radio"/> [2]

- 自動起動設定ソフト一覧画面が表示されます。

2 ソフトを選んで を押し、起動日時を設定する。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは **[←]** で移動できます。



スケジュール設定画面

毎日起動する	[1] 時刻を入力 <input type="radio"/>
曜日を指定して起動する	[2] 曜日を選ぶ <input type="radio"/> (くり返し可) <input type="radio"/> 時刻を入力 <input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ● すべての曜日を選択/解除する場合は、[全選択] / [全解除] を押します。
日付を指定して起動する	[3] 日付・時刻を入力 <input type="radio"/>

自動起動対応のソフトの設定を有効にする

1 スケジュール設定画面で **[4] 時間間隔設定** を押す。

- 無効にするには、自動起動の設定を削除します (「FOMA 端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作 1「削除する」)。
- 自動起動設定がないソフトの場合、**[時間間隔設定]** は選択できません。

お知らせ

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
 - 電源が入っていないとき
 - 他の機能が起動している場合
 - i アプリが起動中の場合
 - 通話中
 - スケジュール、ToDoリストのアラーム時刻が自動起動の時刻と同じ場合
 - i アプリの機能別ロック中
- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位 (高 低)		
機能	自動電源OFF ToDoリスト	自動電源ON i アプリ自動起動	アラーム

- **設定リセット** を行うと、i アプリ自動起動失敗履歴は削除され、i アプリの自動起動設定は解除されます。
- 自動起動設定したソフトの通信設定が「起動ごとに確認」となっている場合、自動起動したときに通信するかどうかの確認画面が表示されます。そのまま操作せずに5秒間経過すると自動的に確認画面で「いいえ」を選択した設定で起動します。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には「起動エラー」と表示されます。

i アプリTo機能

サイトや i モードメールから i アプリを実行する

i アプリTo (i アプリ起動設定) が設定されている場合、サイト、インターネットホームページ、i モードメール、メッセージR/F、画面メモやトルカから i アプリを起動できます。

- 下記の方法でも i アプリを起動できます。
 - 赤外線通信中に i アプリ起動の信号を受信したとき
 - バーコードリーダーで i アプリの起動情報を読み取ったとき
 - FeliCa マークを読み取り機にかざして i アプリの起動情報を読み取ったとき
- i アプリTo を許可するかどうかは、i アプリTo 設定で設定します。

i アプリToでの起動を設定する

< i アプリTo設定 >

お買い上げ時 許可する

i アプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定できます。

- 1 ソフト一覧画面(P.246)で、ソフトを選んで [ソフト利用設定] を押す。
- 2 [i アプリTo設定] を選んで [] を押し、 [許可する] を押す。
- 3 [] 完了] を押す。

お知らせ

- 起動するソフトは、サイト、インターネットホームページ、i モードメール、メッセージR/F、画面メモやトルカによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

サイトやi モードメールからi アプリを起動する < i アプリTo機能 >

- i アプリTo設定が [許可しない] に設定されている場合、i アプリToでは起動できません。
- i アプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

- 1 サイト、インターネットホームページ、i モードメール、メッセージR/F、画面メモやトルカに表示されている i アプリを選んで [] を押し、 [はい]] を選んで [] を押す。

- 起動を中止するときは、[i アプリ起動中] と表示されているときに [] を押し、 [はい] を選んで [] を押します。

お知らせ

- i アプリを終了すると、元のサイトやインターネットホームページ、受信メール表示画面、画面メモやトルカ詳細画面に戻ります。
- i アプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、[指定されたソフトがありません] と表示されます。
- サイトから起動するソフトによっては、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に通信設定(P.248)が必要な場合もあります。

お知らせ

- i モードメールからの i アプリToは、IP 情報サービス提供者からの i モードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

i アプリ待受設定

i アプリ待受画面を設定する

- 待受画面に設定した i アプリは、[] を押すと操作できるようになります。

i アプリ待受画面を設定する

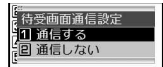
< 待受画面設定 >

- i アプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定(P.255)で設定できます。

- 1 ソフト一覧画面(P.246)で、ソフトを選んで [] (4) 待受画面設定] を押し、 [はい] を選んで [] を押す。

- i アプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。

- 通信を利用するソフトのときは、右の画面が表示されます。通信する] を選択すると通信が許可されます。



[通信しない] を選択すると通信されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ


- i アプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- i アプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- i アプリ待受画面を設定している場合、待受画面には i アプリが表示されます。メイン画面設定の待受画面設定で設定した画像は表示されません。i アプリ待受画面設定を解除すると、メイン画面設定の待受画面設定で設定した画像が表示されます。
- i アプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
- 通信を行うソフトを i アプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- i アプリ待受画面表示中に **オールロック** を設定すると、i アプリ画面は終了し、[待受画面1] の画像が表示されます。また、i アプリ待受画面表示中に i アプリの機能別ロックを設定すると、i アプリ画面は終了し、メイン画面設定の待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたは i アプリの機能別ロックを解除すると i アプリ待受画面が再表示されます。
- i アプリDXを i アプリ待受画面に設定した場合、i アプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- i アプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れると i アプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい] を選択するか、約5秒そのままにしておくと、i アプリ待受画面が起動します。[いいえ] を選択すると、通常の待受画面になり、i アプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、**自動電源ON**で電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。

お知らせ

- i アプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。
- 次の操作を行うと待受画面の i アプリはいったん終了します。

■ カメラ機能	■ トルカ機能
■ データBOX機能	■ 赤外線通信
■ i モード機能	■ i アプリのソフトのダウンロード
■ メール機能	■ i アプリの起動
■ テレビ電話	■ ブックリーダー
■ 電話帳お預かりサービス	■ パターンデータの更新
■ SDオーディオ	■ ソフトウェアの更新
■ i アプリの設定の変更	■ i C送信
■ i モーションの再生	



セキュリティエラーについて

- i アプリ待受画面を設定している場合、i アプリが不正な動作をしようとしたり、i アプリのソフトが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、i アプリ待受画面は解除されます。
- i アプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。待受画面に「セキュリティエラー」と表示されているときは、を押すと、エラー履歴が表示されます。

関連操作





i アプリ待受画面から通信するかどうかを設定する

<待受画面通信設定>

- 1 ソフト一覧画面で、待受画面に設定されているソフトを選ぶ▶⑤
- 2 ①

メニューから i アプリ待受画面を設定する



<待受画面設定>

- 1 待受画面で②①①③
- 2 ソフトを選ぶ▶
 - 待受画面に設定している i アプリを設定し直すとき:①[設定]▶ソフトを選ぶ▶▶[はい]▶
 - 待受画面に設定している i アプリを終了するとき:②[終了]
 - 待受画面に設定している i アプリを解除するとき:③[解除]

i アプリ待受画面を解除する

i アプリ待受画面を解除すると、メイン画面設定で設定した画像が表示されます。

- i アプリ待受画面を終了しても、i アプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときに i アプリ待受画面が再起動します。

- 1 ソフト一覧画面(P.246)で、待受画面に設定されているソフトを選んで④[待受画面設定]を押す。

- 2 [はい]を選んでを押す。

i アプリを管理する

FOMA 端末に保存した i アプリのバージョンアップを行ったり、削除やソート、実行時のエラー情報やトレース情報の表示を行うことができます。



- ソフトによっては、IR 情報サービス提供者が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合は、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IR 情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IR 情報サービス提供者が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- このように IR 情報サービス提供者がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、i モードアイコンが点滅します。この際通信料はかかりません。

i アプリをバージョンアップする


<バージョンアップ>

FOMA 端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップできます。

ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。

- 1 ソフト一覧画面(P.246)で、ソフトを選んで②[バージョンアップ]を押す。

- 2 [はい]を選んでを押す。

- ソフトの情報が表示されたときは、を押します。

お知らせ

- FOMA 端末(本体)のメモリの空き容量がない場合は、バージョンアップできません。他のソフトまたは i アプリとメモリアリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
- おサイフケータイ対応 i アプリによっては、IC カードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

関連操作

ソフト実行時に自動バージョンアップする

[最新ソフトにバージョンアップしますか?]の確認画面で、[はい]▶

関連操作のお知らせ

- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール運動型ソフトはバージョンアップできません。

i アプリを並べ替える<ソート>

お買い上げ時 ダウンロード(新 旧)

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

ダウンロード(新 旧)	ダウンロードした日付の新しい順
ダウンロード(旧 新)	ダウンロードした日付の古い順
使用順	最近使用されたソフトの順
ソフトサイズ順	プログラムサイズの大きいもの順

- 1 ソフト一覧画面(P.246)で [7] [ソート] を押し、ソート方法を選んで [] を押す。

エラー表示を確認する<エラー表示>

ソフト実行時のエラー情報[自動起動失敗履歴] [待受画面エラー履歴] [セキュリティエラー履歴] やトレース情報を確認できます。

- 1 待受画面で [] [] を 1 秒以上押し、 [6] エラー表示 を押す。
- 2 エラー履歴を選んで [] を押す。

お知らせ

- i アプリ待受画面が解除してしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。

関 連 操 作

トレース情報を表示する<トレース表示>

- 1 待受画面で [] [] (1 秒以上) [7]
- 2 確認を終わるときは []
 - トレース情報を削除するとき: [] [] [はい] []

関連操作のお知らせ

- トレース情報がない場合は、[トレース情報がありません] と表示されます。
i アプリ作成者の方へ
- 作成した i アプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

i アプリを機能別ロックする

<機能別ロック>

- 1 待受画面で [] [] を 1 秒以上押し、 [8] 機能別ロック を押し、端末暗証番号を入力して [] を押す。
- 2 [ON] / [OFF] を選ぶ。

ロックする	[]
ロックを解除する	[]

i アプリを削除する<削除>

- 1 ソフト一覧画面(P.246)で、ソフトを選んで [3] 削除 を押す。
- 2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	[1] [はい] []
複数をもとめて削除する	[2] ソフトを選ぶ [] [くり返し可] [] [はい] [] ● すべてを選択 / 解除する場合は、 [] [全選択] / [] [全解除] を押し、 [] [] を押す。
すべてを削除する	[3] 端末暗証番号を入力 [] [] [はい] []

お知らせ

- メール連動型 i アプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。
- 削除するソフトの i アプリ使用データが microSD メモリーカードに保存されている場合、i アプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
- フォルダを残してメール連動型 i アプリのソフトを削除した場合、フォルダ内の i モードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOX で [] を押し、 [i モードメール閲覧] を選択します。メール連動型 i アプリを起動せずにフォルダ内の i モードメールを表示できます。

おサイフケータイ対応 i アプリのソフトを削除するとき

- ソフトによっては、お客様がソフトを起動して IC カード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
 - おサイフケータイ対応 i アプリによっては、削除できない場合があります。
 - ICカードロック中、おサイフケータイ対応 i アプリのソフトは削除できない場合があります。
- メール連動型 i アプリを含むソフトを全件削除するとき
- メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。

i アプリ使用データ(コンテンツ移行対応)

microSDメモリーカード内の i アプリ使用データを表示する

- i アプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
- 詳細情報には、利用可能ソフト / CP名、フォルダ利用可 / 不可、利用不可原因が表示されます。
- フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
 - ソフト動作制限 あり: 保存されたデータを使用するソフトがないため利用できません。
 - FOMAカード動作制限 あり: 保存したときと異なる FOMA カードが挿入されているため利用できません。
 - 機種制限 あり: 保存したときと異なる機種のため利用できません。
 - シリーズ制限 あり: ソフトのシリーズが異なるため利用できません。

- 1 待受画面で を1秒以上押して [i アプリ使用データ] を押す。

フォルダを1件削除する	フォルダを選ぶ [はい]
情報を表示する	 ● 確認を終わるときは を押します。

お知らせ

- 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、i アプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

i アプリのさまざまな機能を利用する

- 利用する機能によっては、同時に起動している他の機能を終了してから利用できるものがあります。

i アプリからサイトを表示する

- サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

- 1 ソフト実行中にURLの項目を選んで を押し、[はい] を選んで を押す。
- サイトやインターネットホームページを表示する方法は、ソフトによって異なります。

i アプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することができます。

- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

- 1 ソフト実行中に電話番号の項目を選んで を押し、[はい] を選んで を押す。
- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する方法は、ソフトによって異なります。
 - 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する電話番号が表示されます。

2 電話をかける。

音声電話	/
テレビ電話	
プッシュトーク	/ (P)

i アプリからカメラ機能を利用する

- i アプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は i アプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中にカメラの起動項目を選んで を押す。

- カメラモード(静止画撮影画面)になります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから [画像サイズ] [連続撮影] [画質] [フレーム] などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

- 2 を押す。
- 撮影した画像を保存するときは、 を押します。

お知らせ

- ソフトによっては i アプリで利用する画像やお客が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。i アプリで利用する画像とは、実行中の i アプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

i アプリからバーコードリーダーを利用する

1 ソフト実行中にバーコードリーダーの起動項目を選んで を押す。

- カメラモード(バーコードリーダー)になります。
- バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

2 バーコード(JANコード、QRコード) が表示されるようにカメラを合わせ、 [読取] を押す。

- バーコード(JANコード、QRコード) が撮影されます。

お知らせ

- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

i アプリからトルカを保存する

1 ソフト実行中にトルカの保存項目を選んで を押す。

- トルカの登録方法は、ソフトによって異なります。

2 プレビュー表示または保存を行う。

トルカをプレビュー表示する	[プレビュー] <input checked="" type="radio"/>
新規保存する	[新規保存] <input checked="" type="radio"/> フォルダを選ぶ <input checked="" type="radio"/>
上書き保存する	[上書き保存] <input checked="" type="radio"/> フォルダを選ぶ <input checked="" type="radio"/> データを選ぶ <input checked="" type="radio"/>


i アプリからアラームを登録する

- [時刻入力]と[繰り返し設定]は、i アプリにより入力されています。


1 ソフト実行中にアラーム登録項目を選んでを押し、[OK]を押す。

2 登録番号を押し、アラームを登録する。
● 詳しくは、P.337の操作2～4を参照してください。

i アプリから赤外線通信機能を利用する

- セルフモード中は、赤外線通信機能  P.311)を利用することはできません。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動し、[はい]を選んでを押す。

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
- 赤外線通信を中止するときは、を押します。